

(仮称) 第3期浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査
就学児童保護者調査結果【概要版】

1. 子どもと家族の状況について

問1① 住まいの地区（単回答）

・3地域別にみると、「元町」が33.3%、「中町」が40.2%、「新町」が26.4%となっています。

問1② 居住歴（単回答）

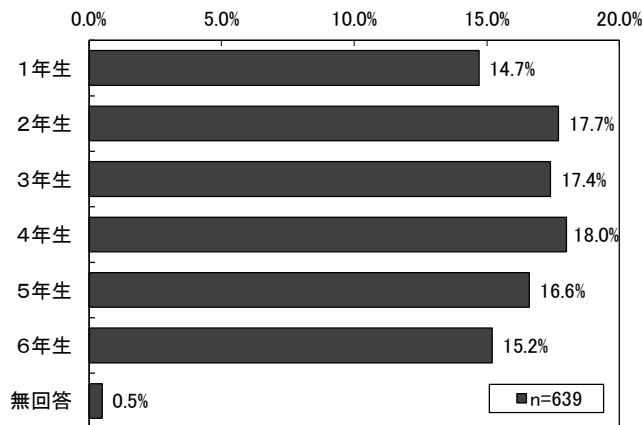
・「浦安市に転入してきた」が85.0%、「浦安市に生まれてからずっと住んでいる」が14.1%となっています。
・転入者の居住歴は、「10年～20年未満」が41.4%で最も高くなっています。

問1③ 転入の理由（単回答）【問1②で「2. 浦安市に転入してきた」と回答した方限定】

・転入理由は、「就職・転職・転勤」が30.2%で最も高く、次いで「住宅の都合（持家の購入、家賃など）」が27.4%、「結婚や離婚のため」が24.1%となっています。

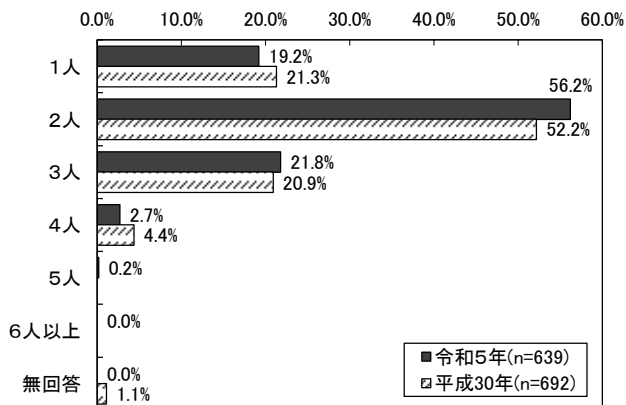
問2 調査対象の子どもの学年（単回答）

・「1年生」が14.7%、「2年生」が17.7%、「3年生」が17.4%、「4年生」が18.0%、「5年生」が16.6%、「6年生」が15.2%、となっています。



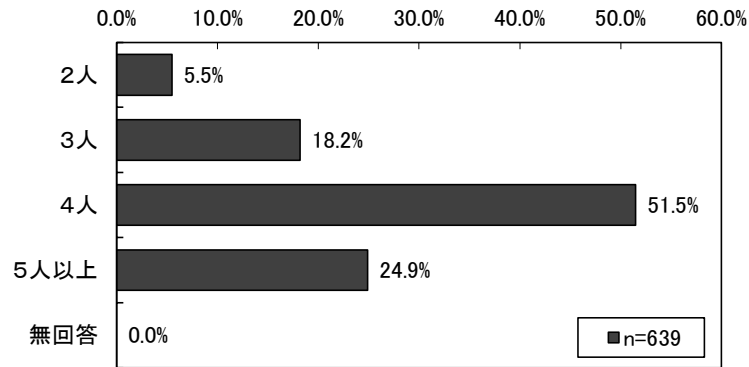
問3 世帯の子どもの人数（単回答）

・「2人」が56.2%、「3人」が21.8%、「1人」が19.2%となっています。



問4 世帯員の人数（数量回答）

・「4人」が51.5%、「5人以上」が24.9%、「3人」が18.2%となっています。

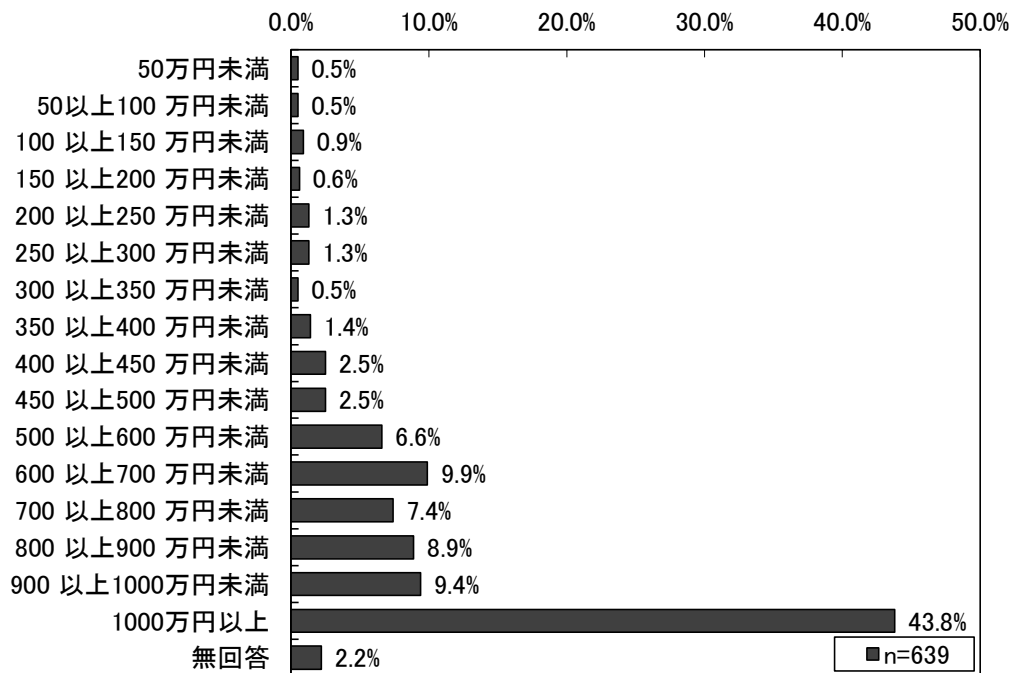


問7 子育て（教育を含む）を主に行っている人（単回答）

・「主に母親」が56.5%で最も割合が高く、次いで「父母とも同じくらい」が39.9%となっています。

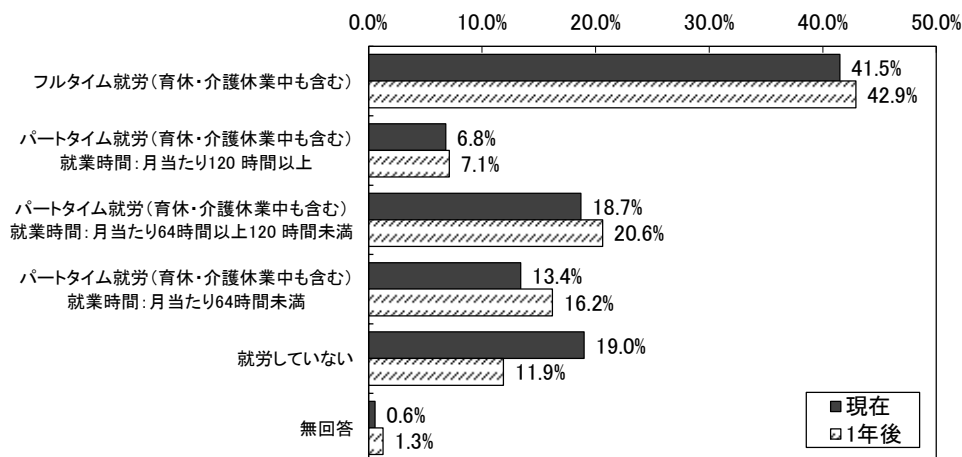
問8 世帯の年間収入（税込）（単回答）

・「1,000万円以上」が43.8%でもっと高く、次いで「600以上700万円未満」が9.9%、「900以上1000万円未満」が9.4%となっています。



問9(1) 母親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労(産休・育休・介護休業中も含む)」が最も高くなっており、大きな変化はみられません。
- ・現在と1年後の就業率を比較すると、現在は80.4%、1年後は86.8%で6.4ポイント増加しています。
- ・平成30年調査と比較すると、現在の就業率は、62%から18.4ポイント増加しています。



n=636

問9(2) 父親の現在の就労状況と1年後の就労予定(単回答)

- ・現在、1年後ともに「フルタイム就労(産休・介護休業中も含む)」の割合が最も高くなっており(いずれも98.2%)、大きな変化はみられません。平成30年調査と比較しても、大きな差異はみられません。

※家庭類型について

保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、6タイプに分類しています。

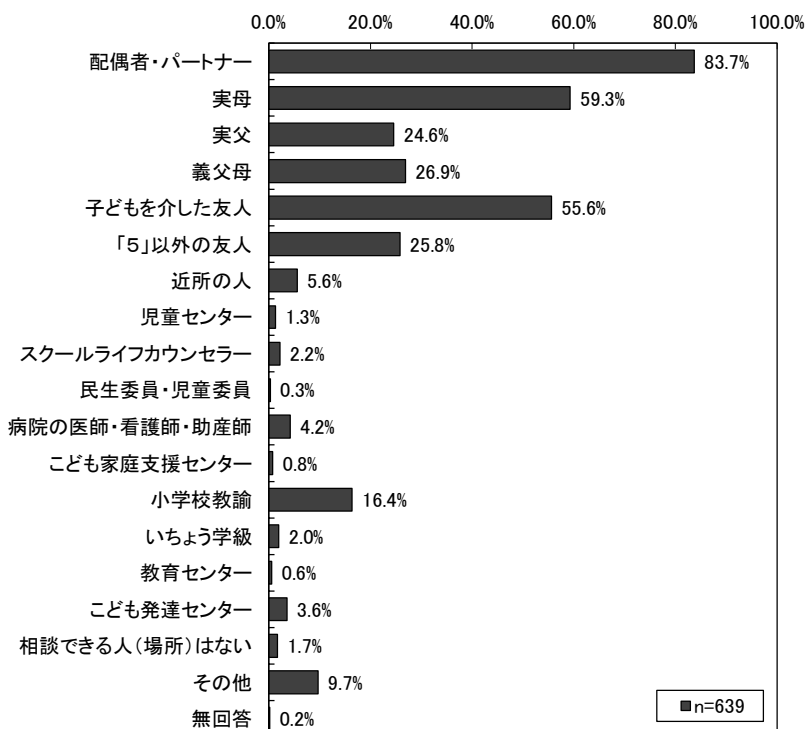
※家庭類型割合

ニーズ調査の結果から、年齢区分ごとの家庭類型を分類すると、以下のとおりで、現在の共働き家庭(タイプB、C、E)が75.1%から、1年後に77.7%と2.6ポイント高くなっています。

家庭類型		現在		潜在(1年後)	
		実数	割合(%)	実数	割合(%)
タイプA	ひとり親	29	4.5	29	4.5
タイプB	フルタイム×フルタイム	243	38.0	242	37.9
タイプC	フルタイム×パートタイム	232	36.3	251	39.3
タイプD	専業主婦(夫)	122	19.1	75	11.7
タイプE	パート×パート	5	0.8	3	0.5
タイプF	無業×無業	0	0.0	-	1
無回答		8	1.3	39	6.1
全体		639	100.0	639	100.0

問 11 子育て（教育を含む）に関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）

・「配偶者・パートナー」が 83.7%で最も高く、次いで「実母」が 59.3%、「子どもを介した友人」が 55.6%の順となっています。



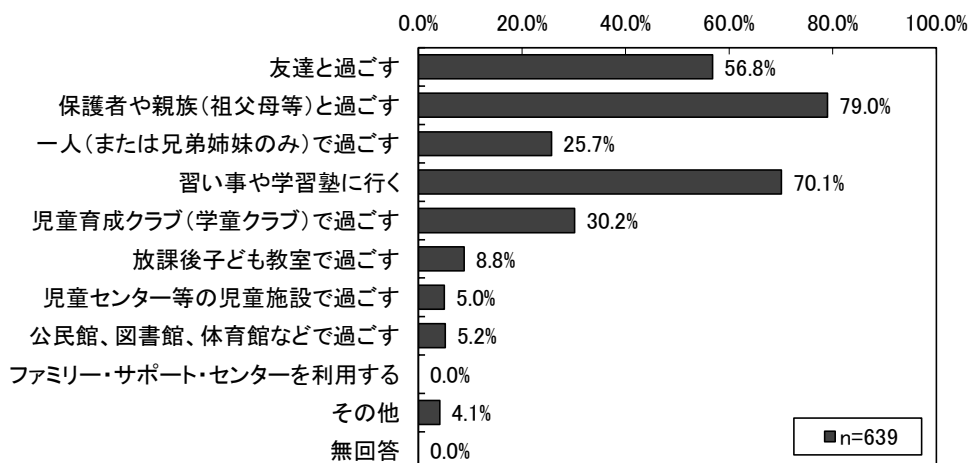
問 11-1 生活する中で本当に困ったときに、重要なことがらや、いざという時のお金の援助を相談できる人や場所の有無（単回答）

・「いる」が 70.3%、「いない」が 29.4%となっています。

2. 放課後や土曜日の過ごし方について

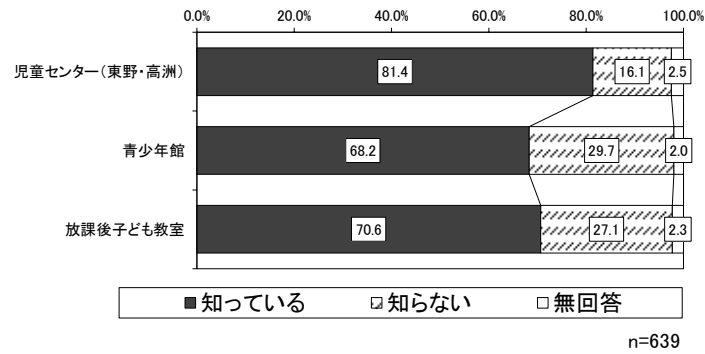
問 12 子どもの放課後や土曜日の過ごし方（複数回答）

・「保護者や親族（祖父母等）と過ごす」が 79.0%で最も高く、次いで「習い事や学習塾に行く」が 70.1%、「友達と過ごす」が 56.8%の順となっています。



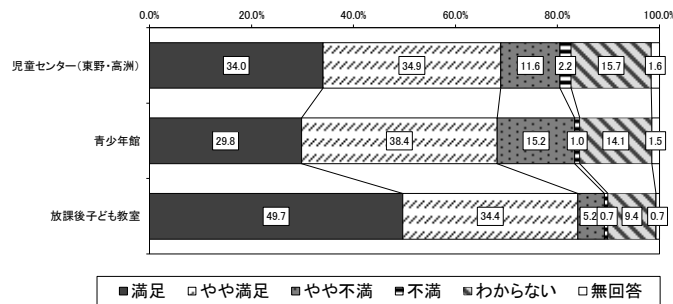
問 13 子どもが放課後や土曜日に過ごすときの施設について（複数回答）

【認知状況】認知状況は、「児童センター（東野・高洲）」が81.4%で最も高く、次いで「放課後子ども教室」が70.6%、「青少年館」が68.2%の順となっています。

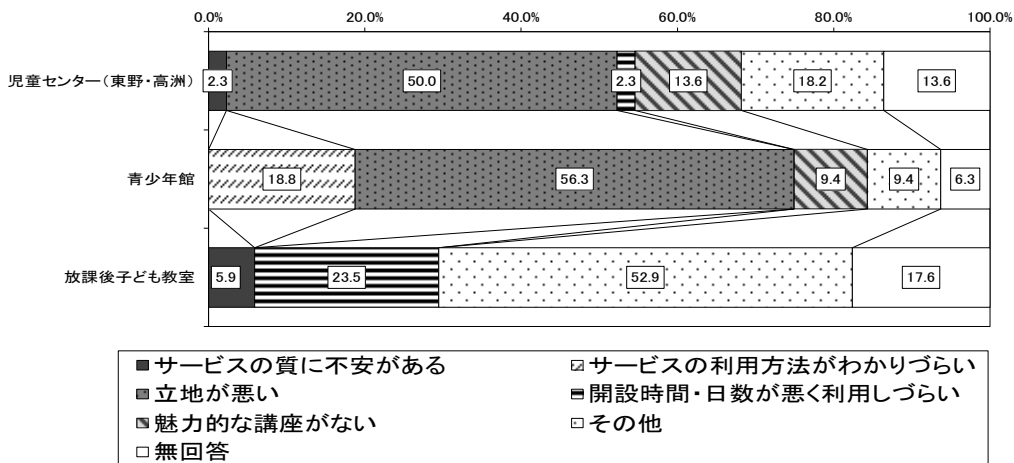


【利用経験】利用経験は、「放課後子ども教室」が63.9%と最も高く、次いで、「児童センター（東野・高洲）」が61.2%、「青少年館」が45.4%の順となっています。

【満足度】満足度が高い施設は、「放課後子ども教室」が49.7%で最も高く、次いで「児童センター（東野・高洲）」が34.0%、「青少年館」が29.8%の順となっています。



【不満の理由】不満の理由は、「児童センター（東野・高洲）」「青少年館」で「立地が悪い」、「放課後子ども教室」で「その他」が最も高くなっています。



【その他の主な記載内容】

児童センター（東野・高洲）

- ・本人の遊びたいものがない
- ・体を動かすものが少ない

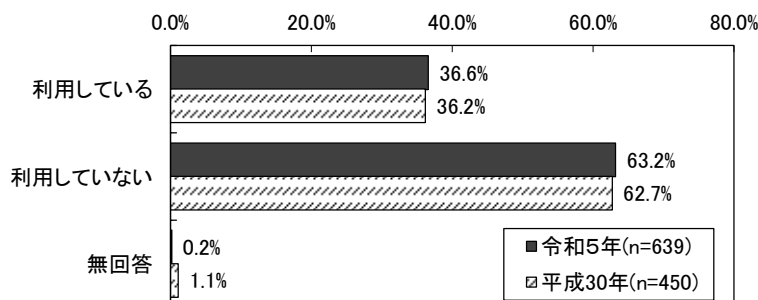
放課後子ども教室

- ・高学年向けでない
- ・本人が希望しない

3. 児童育成クラブの利用状況について

問 14 児童育成クラブの利用状況（単回答）

- ・「利用している」が36.6%で、「利用していない」が63.2%となっています。
- ・平成30年調査と比較しても、大きな差異はみられません。



問 14-1 児童育成クラブの利用日数（単回答）

【問 14 で「1. 利用している」と回答した方限定】

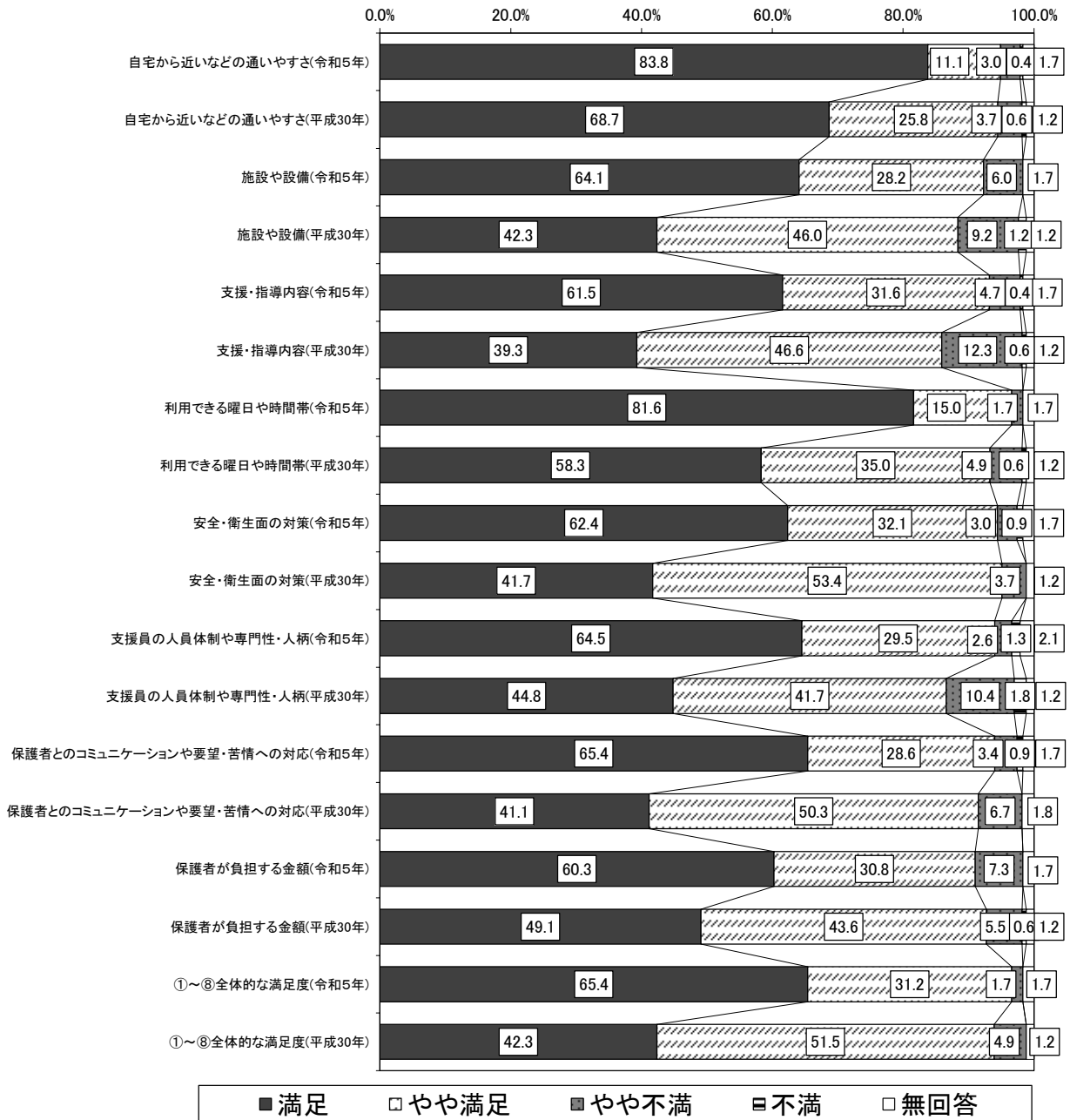
- ・「5日」が50.4%で最も高く、次いで「4日」が18.8%、「3日」が14.5%の順となっています。

	合計	問14-1 児童育成クラブの利用日数								
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
全体	234	11	17	34	44	118	4	0	6	
	100.0	4.7	7.3	14.5	18.8	50.4	1.7	0.0	2.6	
子どもの学年	1年生	65	1	2	6	12	40	2	0	2
		100.0	1.5	3.1	9.2	18.5	61.5	3.1	0.0	3.1
	2年生	66	1	0	9	14	40	1	0	1
		100.0	1.5	0.0	13.6	21.2	60.6	1.5	0.0	1.5
	3年生	44	3	4	11	9	17	0	0	0
		100.0	6.8	9.1	25.0	20.5	38.6	0.0	0.0	0.0
4年生	34	2	4	6	6	13	1	0	2	
	100.0	5.9	11.8	17.6	17.6	38.2	2.9	0.0	5.9	
5年生	19	2	7	1	2	7	0	0	0	
	100.0	10.5	36.8	5.3	10.5	36.8	0.0	0.0	0.0	
6年生	6	2	0	1	1	1	0	0	1	
	100.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	

問 14-3 児童育成クラブへの評価（単回答）

【問 14 で「1. 利用している」と回答した方限定】

・「満足」をみると、「自宅から近いなどの通いやすさ」が 83.8% で最も高く、次いで「利用できる曜日や時間帯」が 81.6%、「保護者とのコミュニケーションや要望・苦情への対応」が 65.4% の順になっています。

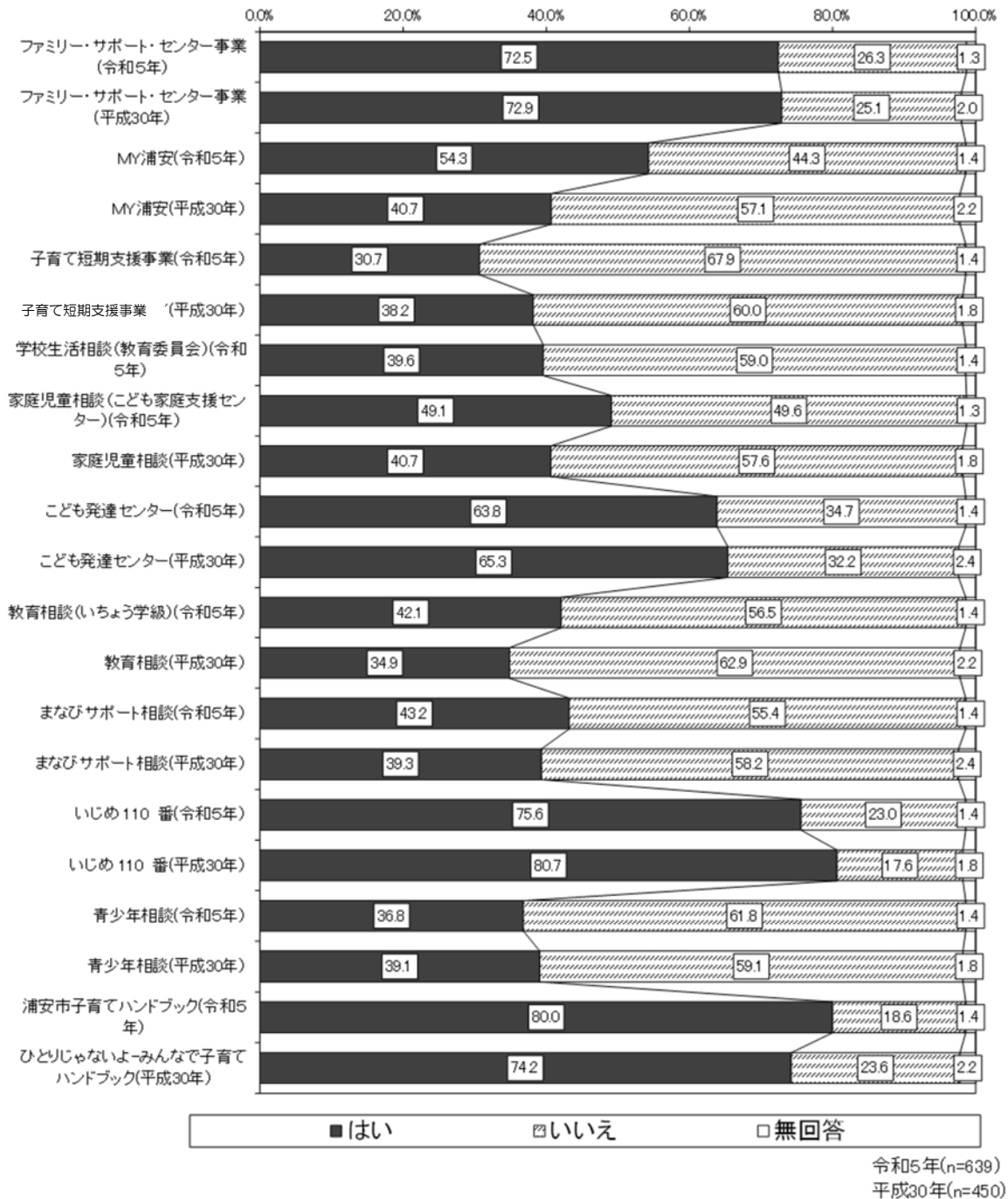


令和5年(n=234)
平成30年(n=163)

4. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 15 (A) 地域子育て支援事業の認知度 (単回答)

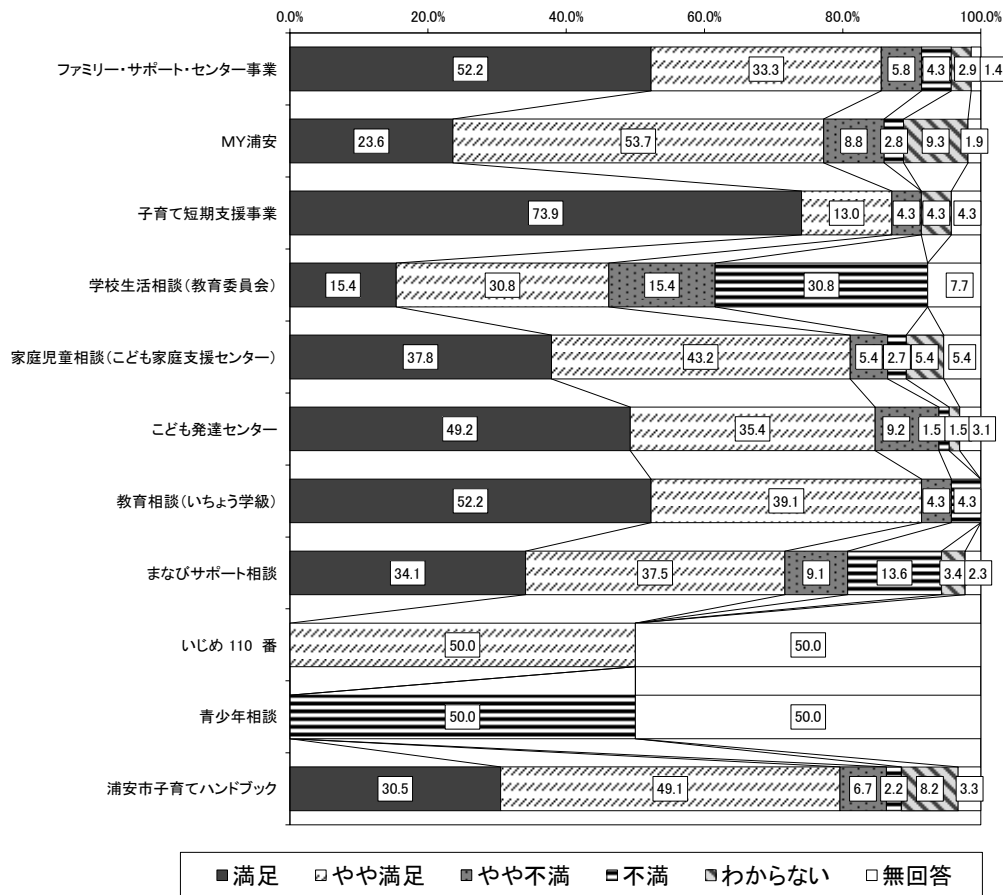
- ・認知度が高い事業は、「浦安市子育てハンドブック」が 80.0%で最も高く、次いで「いじめ 110 番」が 75.6%、「ファミリー・サポート・センター」が 72.5%となっています。
- ・認知度が低い事業は、「子育て短期支援事業」が 30.7%で最も低く、次いで「青少年相談」が 36.8%となっています。



※平成 30 年調査では「学校生活相談 (教育委員会)」の選択肢無し

問 15 (B) 地域子育て支援事業の満足度 (単回答)

- ・「満足」の割合が高い事業は、「子育て短期支援事業」が73.9%で最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター事業」「教育相談 (いちょう学級)」が52.2%となっています。
- ・「不満」の割合が高い事業は、「青少年相談」50%、「学校生活相談 (教育委員会)」30.8%となっています。



問 15 (C) 地域子育て支援事業の不満の理由 (単回答)

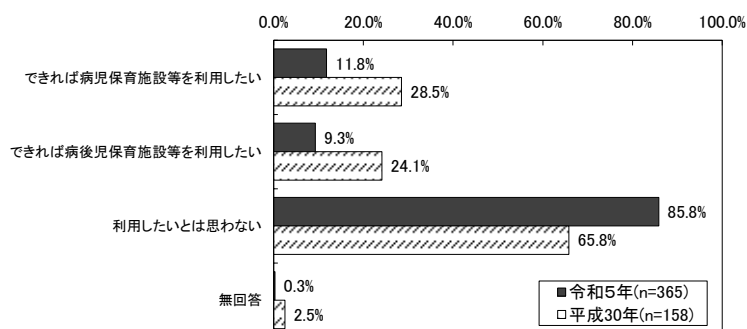
- ・不満の理由は、「青少年相談」、「学校生活相談 (教育委員会)」では事業の質による理由が高くなっています。

5. 病気やケガの際の対応について

問 16-2 病児・病後児保育の利用希望 (複数回答、数量回答)

【問 16-1 で「父親・母親が仕事を休んだ」と回答した方限定】

- ・「できれば病児保育施設等を利用したい」が11.8%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が9.3%、「利用したいとは思わない」が85.8%となっています。



問 16-3 望ましい事業形態（複数回答、数量回答）

【問 16-2 で「病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方限定】

- ・「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.4% で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 49.0、「自宅へ病児・病後児に対応できる人材を派遣する事業」が 23.5% となっています。

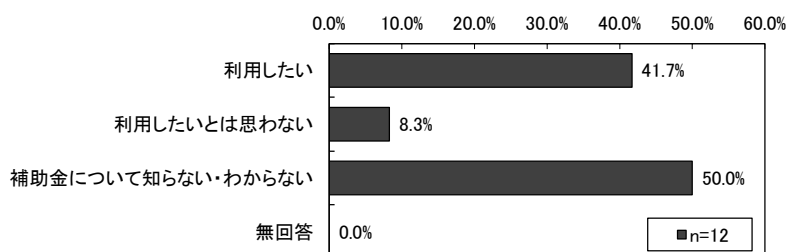
問 16-4 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

【問 16-2 で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

- ・「保護者が仕事を休んで対応すると思っている」が 45.0% で最も高く、次いで「利用のための手続きが面倒」が 41.5%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 31.6% となっています。

問 16-6 事業を利用する際、浦安市訪問型病児・病後児保育利用料補助金を利用したいかどうか（単回答）【問 16-3 で「3. 自宅へ病児・病後児に対応できる人材を派遣する事業」と回答した方限定】

- ・「補助金について分からない」が 50.0% で最も高く、次いで「利用したい」が 41.7%、「利用したいと思わない」が 8.3% となっています。



問 16-7 浦安市訪問型病児・病後児保育利用料補助金を利用したいと思わない理由（複数回答）

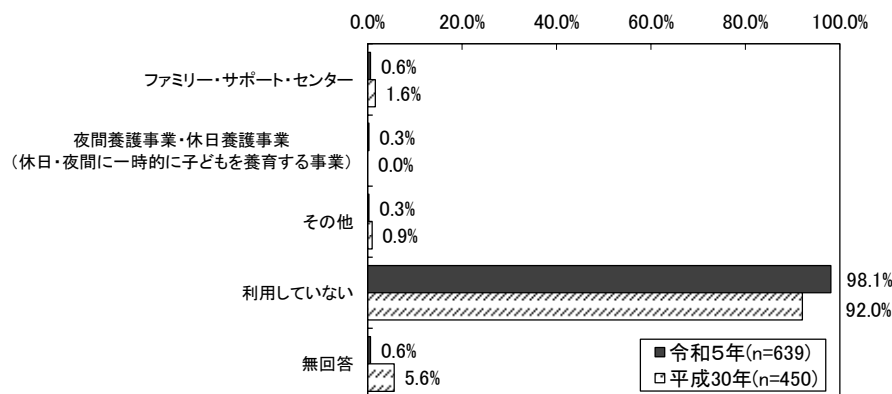
【問 16-6 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方限定】

- ・「利用のための手続きが面倒」が 100.0% となっています。

6. 不定期の子育て支援事業の利用について

問 17 不定期に利用した事業・日数（複数回答、数量回答）

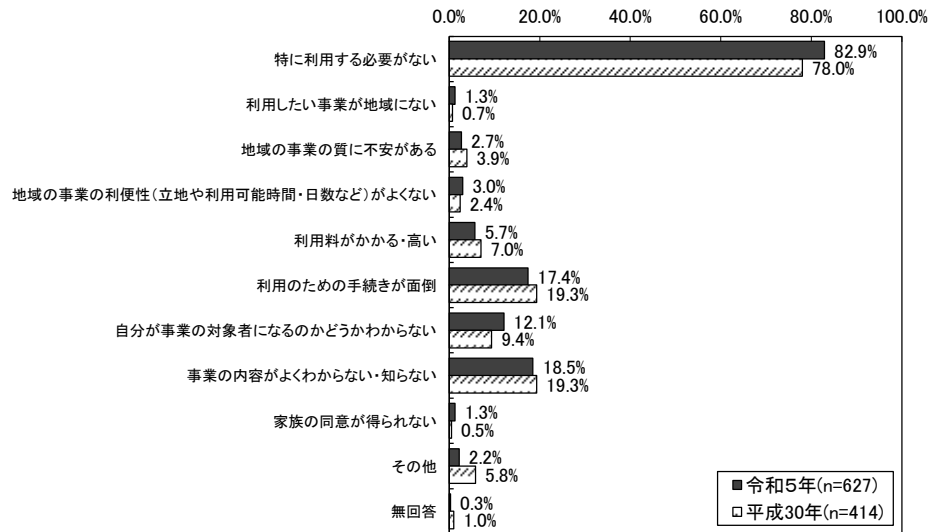
- ・「利用していない」が 98.1% でほとんどを占めています。



問 17-1 不定期で事業を利用していない理由（複数回答）

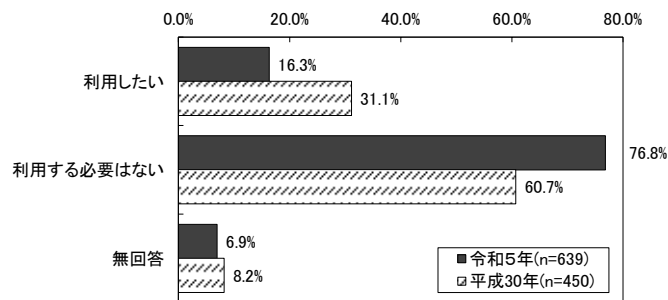
【問 17 で「4. 利用していない」と回答した方限定】

・「特に利用する必要がない」が82.9%で最も高く、次いで「事業の内容及くわからない・知らない」が18.5%、「利用のための手続きが面倒」が17.4%となっています。



問 18① 今後の一時的な預かり事業の利用希望（単回答）

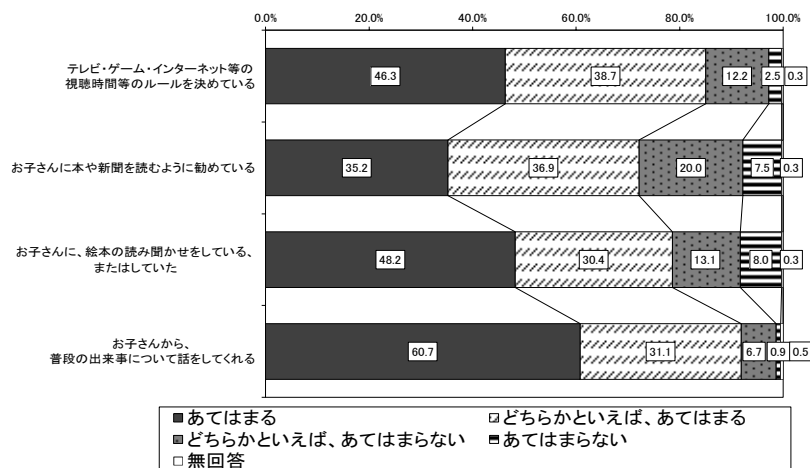
・「利用したい」が16.3%、「利用する必要はない」が76.8%となっています。



7. 子育ての環境について

問 20 子どもとの関わり方について（単回答）

・関わり方がどれくらい当てはまるかについて、「お子さんから、普段の出来事について話をしてくれる」が60.7%で最も高く、次いで「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている、またはしていた」が48.2%、テレビ・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」が46.3%となっています。



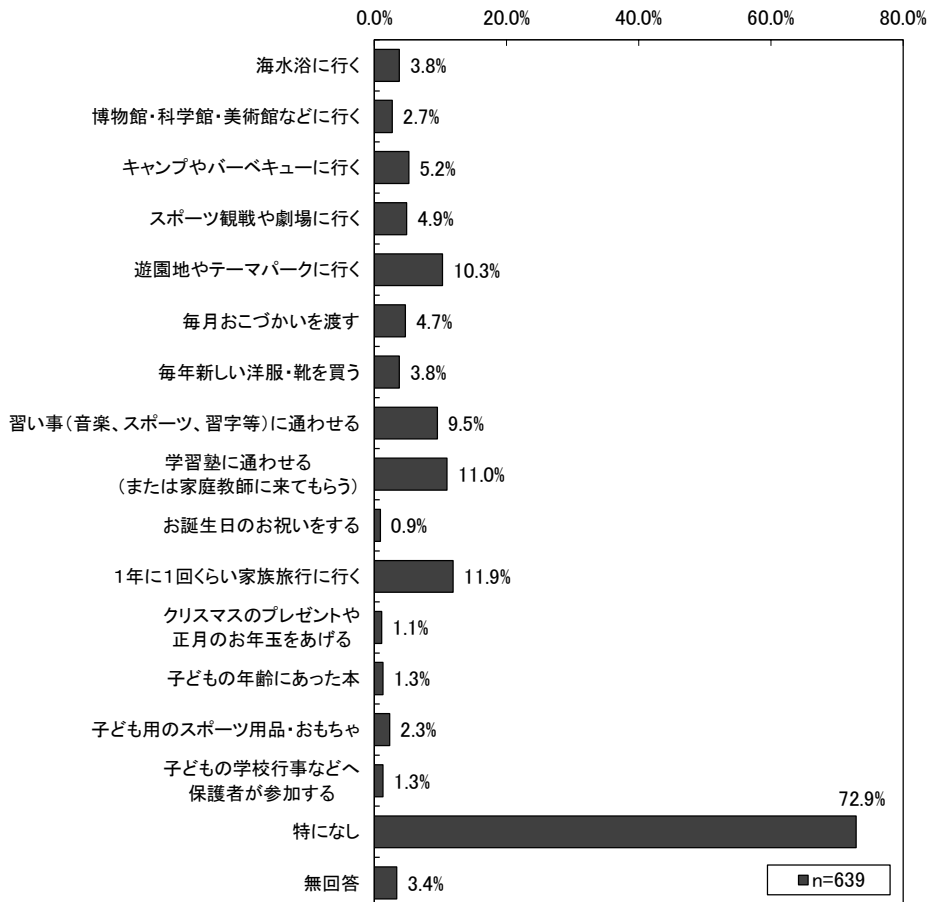
n=639

問 22 現在の暮らしの状況について感じること（単回答）

・「普通」が63.2%で最も高く、次いで「ゆとりがある」が16.6%、「苦しい」が13.5%となっています。

問 26 過去1年以内に、子どもの体験や所有物に関して、経済的な理由により得られなかったもの（複数回答）

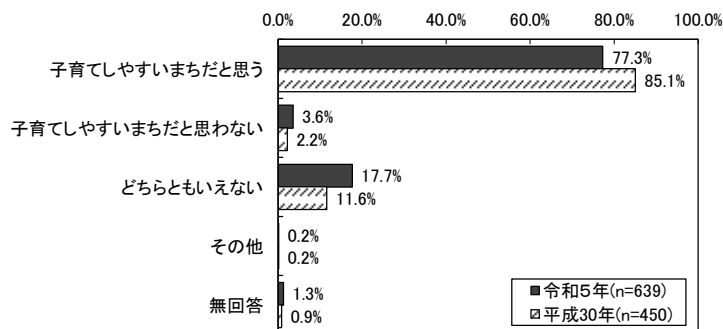
・「特になし」が72.9%で最も高く、次いで「1年に1回の家族旅行に行く」が11.1%、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」が11.0%となっています。



8. 子育てについて

問 28 浦安市は子育てしやすいまちか（単回答）

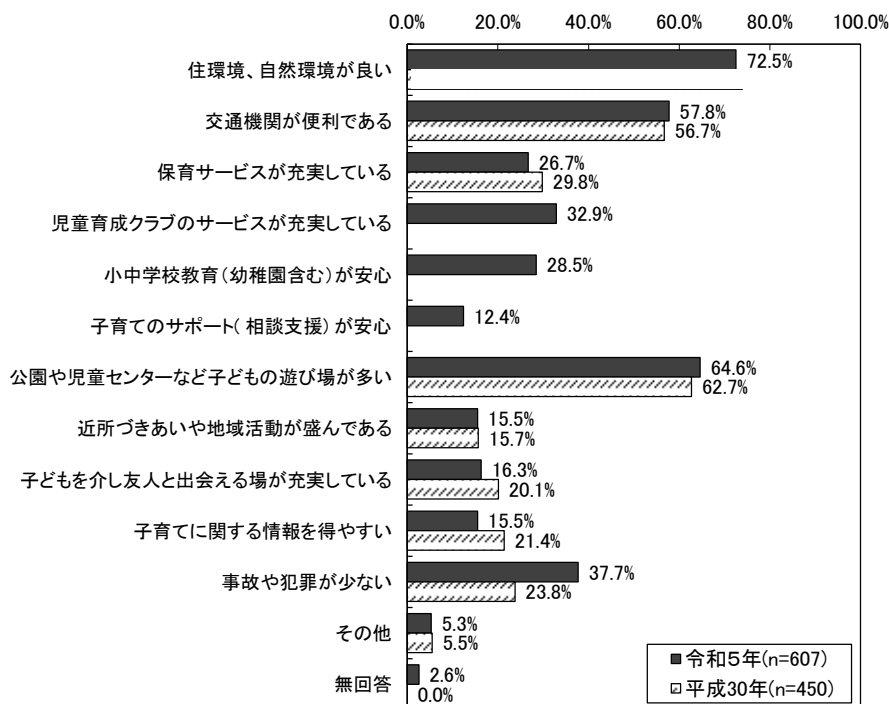
・「子育てしやすいまちだと思う」が 77.3%、「子育てしやすいまちだと思わない」が 3.6%となっています。



問 28-1 浦安市は子育てしやすいまちと思う理由（複数回答）

【問 28 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」、「3. どちらともいえない」と回答した方限定】

・「住環境、自然環境が良い」が 72.5%で最も高く、次いで「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が 64.6%、「交通機関が便利である」が 57.8%となっています。



※平成 30 年は前問で「どちらともいえない」を選択した回答者は対象外。

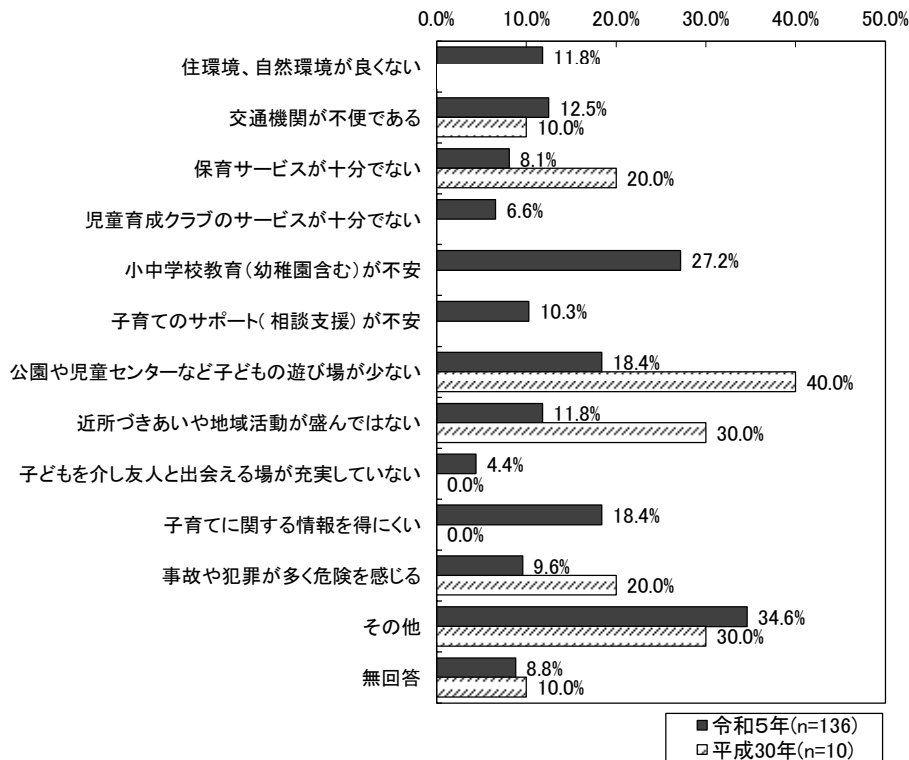
※平成 30 年は「住環境が良い」「自然環境が良い」と選択肢が別々になっている。

※平成 30 年は「児童育成クラブのサービスが充実している」「小中学校教育（幼稚園含む）が安心」「子育てのサポート（相談支援）が安心」の選択肢無し

問 28-2 浦安市は子育てしやすいまちと思わない理由（複数回答）

【問 28 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」、「3. どちらともいえない」と回答した方限定】

- ・「その他」が 34.6%、「小中学校教育（幼稚園含む）が不安」が 27.2%と高くなっています。
- ・平成 30 年調査と比較すると、「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」、「近所づきあいや地域活動が盛んではない」、「事故や犯罪が多く危険を感じる」が大きく減少しています。



【その他の主な記載内容】

- ・子育ての経済的支援の不足
- ・公園や広場の不足
- ・医療機関の不足
- ・学校教員の不足 など

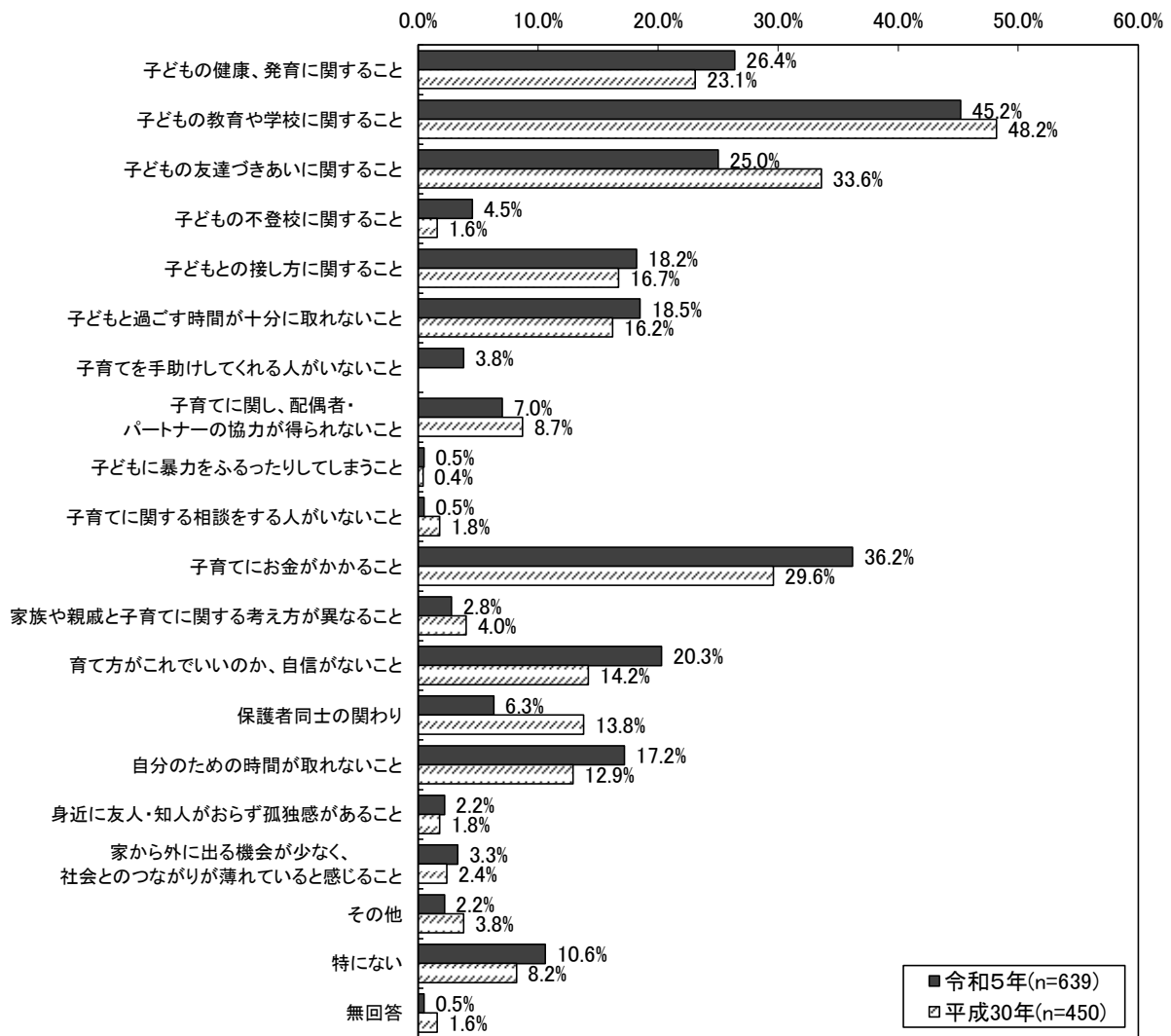
※平成 30 年は前問で「どちらともいえない」を選択した回答者は対象外。

※平成 30 年は「住環境が良くない」「自然環境が良くない」と選択肢が別々になっている。

平成 30 年は「児童育成クラブのサービスが十分でない」「小中学校教育（幼稚園含む）が不安」「子育てのサポート（相談支援）が不安」の選択肢無し

問 30 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていること（複数回答）

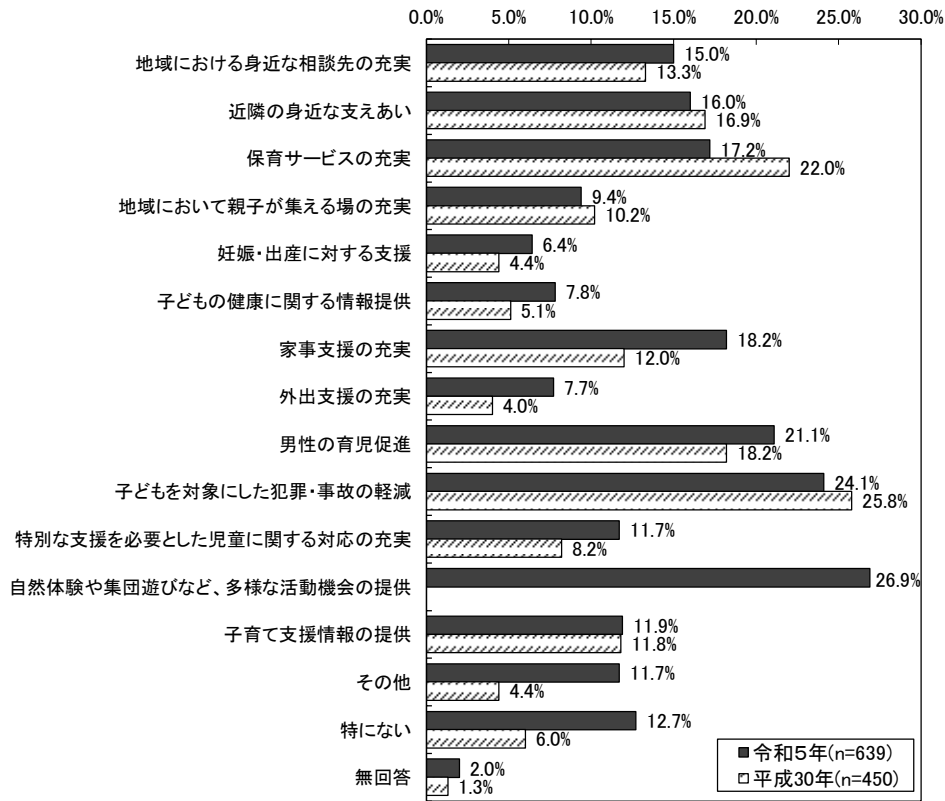
・「子どもの教育や学校に関すること」が 45.2%で最も高く、次いで、「子育てにお金がかかること」が 36.2%、「子どもの健康、発育に関すること」が 26.4%の順となっています。



※平成 30 年は「子育てを手助けしてくれる人がいないこと」の選択肢無し

問 31 子育ての辛さや不安感を解消するために必要な支援・対策（複数回答）

・「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」が26.9%で最も高く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が24.1%、「男性の育児促進」が21.1%となっています。

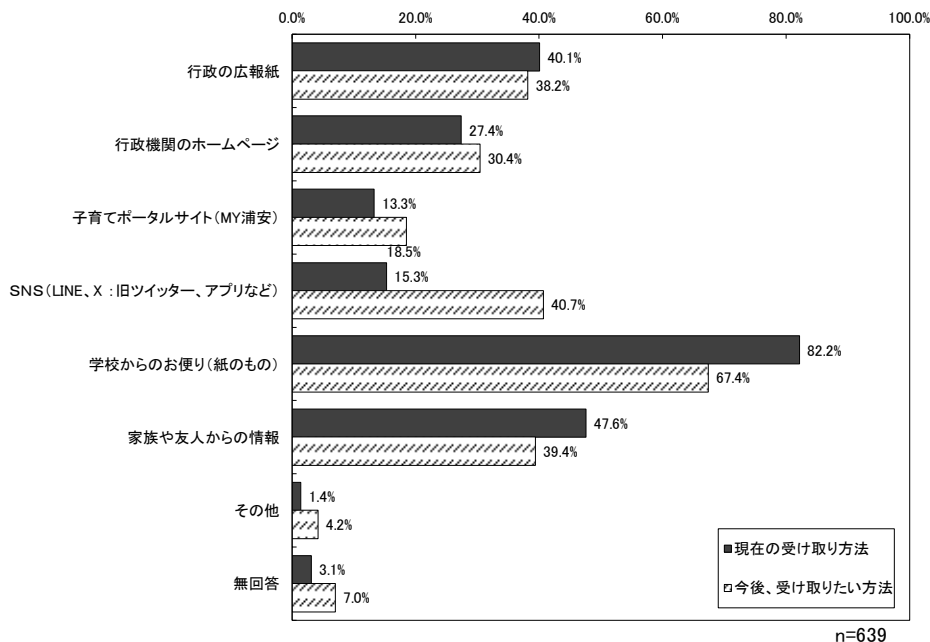


※平成 30 年は「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」の選択肢無し

問 32 子どもに関する支援制度等の情報の入手方法（複数回答）

・現在の受け取り方法は、「学校からのお便り（紙のもの）」が82.2%で最も高く、次いで「家族や友人からの情報」が47.6%、「行政の広報紙」が40.1%となっています。

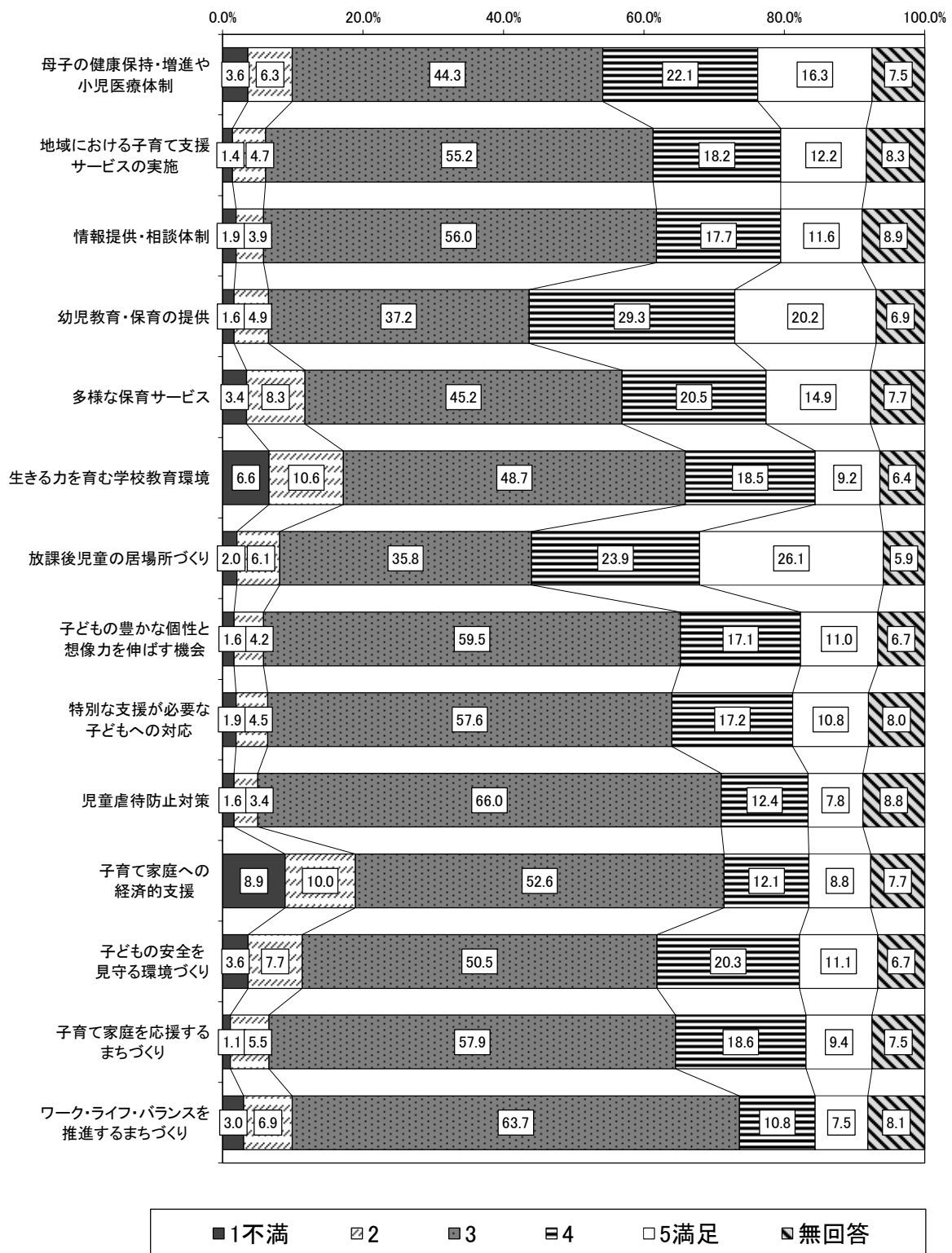
・今後、受け取りたい方法は、「学校からのお便り（紙のもの）」が67.4%で最も高く、次いで「SNS（LINE、X：旧ツイッター、アプリなど）」が40.7%となっています。



問 33 子育て施策への評価（単回答）

【満足度】

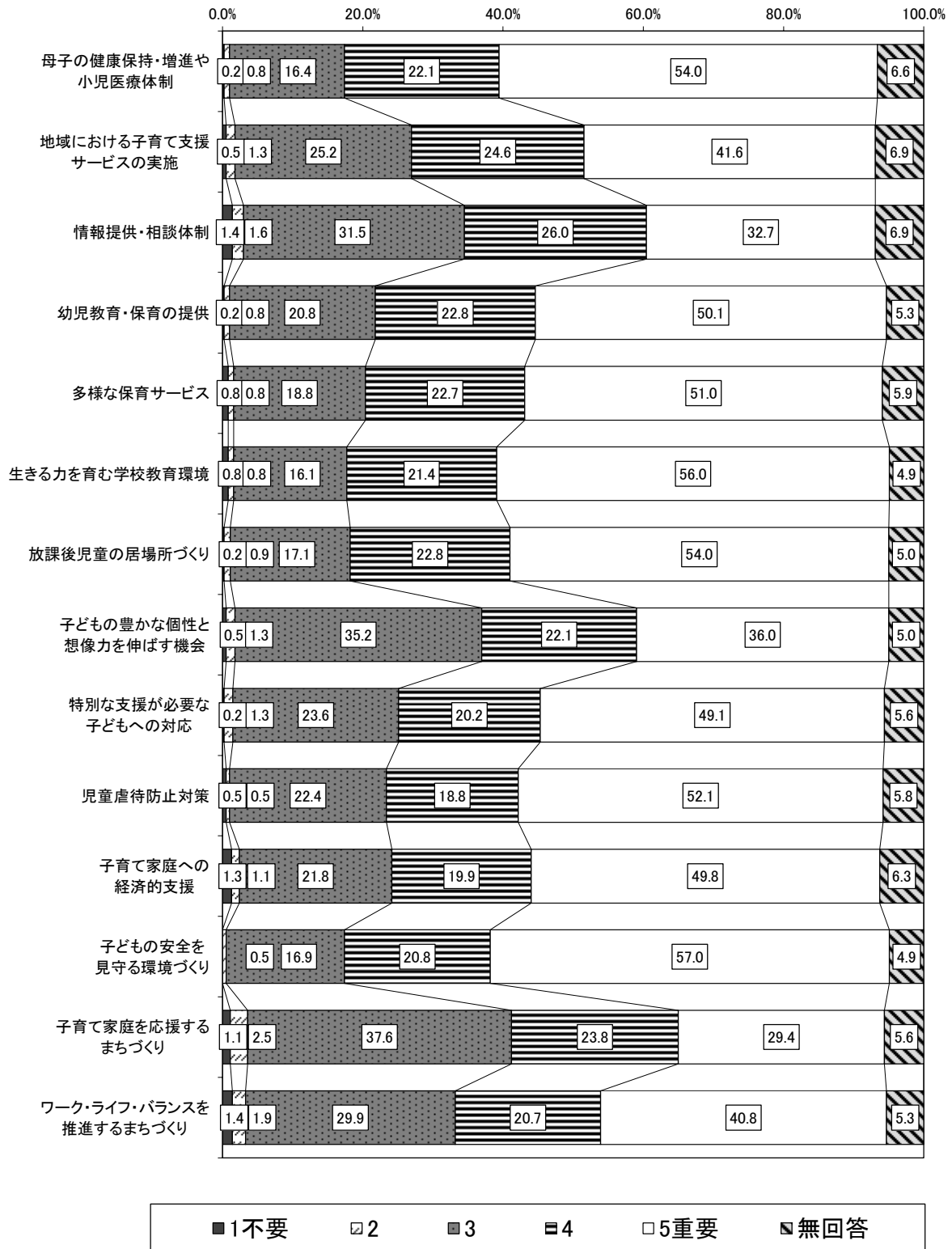
・「満足度5」の割合が最も高い施策は「放課後児童の居場所づくり」で、「満足度1」の割合が最も高い施策は「子育て家庭への経済的支援」となっています。



n=639

【重要度】

・「重要度5」の割合が最も高い施策は「子どもの安全を見守る環境づくり」で、「重要度1」の割合が最も高い施策は「情報提供・相談体制」、「ワーク・ライフ・バランスを推進するまちづくり」となっています。



n=639